

ローラーとバイオリン (1960)

КАТОК И СКРИПКА

メディア 映画

ジャンル ファンタジー

製作国 ソ連

時間 45分

初公開日 1965/03

公開情報 劇場公開

【解説】

A・ラモリスの「赤い風船」に触発されたというタルコフスキーの映画大学の卒業製作で、同窓のコンチャロフスキーが脚本を共同で書いている。バイオリンの練習が嫌でしようがない少年が家を抜け出し、工事現場でさぼっているとローラー乗りの青年と親しくなり、機械に乗せてもらううちに、空想に浸って愉快的体験をする。鮮やかな色使い、テンポの良いカットティングとポップな作風は後のタルコフスキーと結びつかない気が一見するが、ファンタジーの後に訪れる一抹の寂しさのようなものが、実に彼らしい中編である。

【クレジット】

監督	アンドレイ・タルコフスキー	Andrei Tarkovsky
脚本	アンドレイ・タルコフスキー アンドレイ・コンチャロフスキー	Andrei Tarkovsky Andrei Konchalovsky
撮影	ワジーム・ユーソフ	Vadim Yusov
音楽	ヴァチェスラフ・オフチニコフ	Vyacheslav Ovchinnikov
出演	J・フォームチェンコ V・ザマンスキー N・アルハンゲルスカキ	